博物館のお宝拝見

市立博物館が所蔵するお宝を、毎月紹介します。
■問い合わせ先　市立博物館（☎35-0700）

第３回　竹森節堂「舞初め」

竹森節堂（せつどう）（1896～1970）は、狩野派の流れをくむ町絵師・竹森美信（よしのぶ）の子として弘前市中土手町に生まれました。高等小学校（現在の中学校）入学の頃から八戸鶴静（かくせい）から狩野派を学び、その後、蔦谷龍岬（りゅうこう）や野田九浦（きゅうほ）などに師事し表現の幅を広げていきます。また、ねぷた絵師としてもその名が知られており、日本画の筆づかいを初めてねぷたに取り入れ、現在のねぷたの原型を確立させたと言われています。描く前に克明な下絵を作り、それを拡大して描いた節堂のねぷたは「楷書体のねぷた」とも呼ばれ、ねぷた絵師たちの手本として今に引き継がれています。

本作では、華麗かつ凛とした女性の姿が描かれています。節堂は美人画を得意とし、女性のあでやかさとともに、描かれた時代の流行の風俗を取り入れ、着物などに日本の伝統的な美や四季の情景を表現しています。リボン結びをした洋髪や絞り柄の振り袖、戦前まで主流であった丸帯に丸ぐけの帯締め、鹿（か）の子絞りの帯揚げなど、大正～昭和前期にかけての流行ファッションが描かれています。さらに、扇には咲き誇る桜が、帯には、５月に京都の賀茂神社の祭礼である葵祭（あおいまつり）で用いられる双葉葵が描かれ、暮春から初夏にかけての季節を感じることができます。

弘前の偉人たち

市教育委員会が発刊している「新･弘前人物志」から、弘前が生んだ偉人たちを毎月紹介します。皆さんが知らなかった偉人と、出会えるかもしれません。
■問い合わせ先　教育センター（☎26-4803）

第３回　弘前藩・中興の英主　津軽信政

津軽信政絵像（高照神社蔵）

四代藩主である信政（のぶまさ）は、1646年（正保３）に父の信義（のぶよし）の長男として弘前城で生まれました。10歳の時に父が亡くなり後を継ぐことを幕府に願い出ましたが、北方警備という任務を果たすには幼すぎることや、九州の五島列島への国替え問題などがあり、なかなか許可がおりず、叔父を後見役とする条件付きでの相続が決まりました。

信政の業績として、津軽新田の開発や岩木川の河川修理、山林制度の整備、城下町の拡大、製糸業の発展・育成などに努めたことなどを挙げることができます。また、藩の政治体制も確立させ、しっかりした組織のもとで政治が行われるように、家来を一堂に会して諸法度十一カ条を示しました。弘前藩の全盛期を築き上げたとして高く評価され、江戸時代前期の名君、並びに弘前藩中興の英主と言われました。

死後は、岩木山麓の高岡に高岡霊社としてまつられ、霊社は明治になってから高照神社と改められました。現在も社殿が残っており、当時の面影を残しています。

「弘前人物志」は、弘前が生んだ傑出した人物を、中学生の皆さんに知ってもらいたいという目的で1982（昭和57）年に初めて発刊されました。紹介した人物をもっと詳しく知りたい人は、「新・弘前人物志」をぜひご一読ください。

ひろさきびと 弘前人

File.26

三大地区地域づくり連絡協議会事務局長
高木（たかぎ） 弘子（ひろこ） さん

プロフィール
神奈川県出身。三大地区地域づくり連絡協議会設立の仕掛け人。商店を営みながら地域づくり活動に励んでいる。

地域のつながりを残していきたい

三大地区地域づくり連絡協議会は、青少年の健全育成や地域の絆づくりを大きなテーマとして、地域の見守り活動や世代間交流・ふれあいの場づくりのための生涯学習講座などを実施しています。私がこのような地域づくり活動に携わって37年になりました。

現在、新型コロナウイルスが流行している状況で、例年通りの活動ができない中、地域のために何かできることはないかと考えたところ、地域の大人たちが子どもたちを見守っていることを子どもたちに伝えたいという思いが第一にありました。そこで、三大地区の町会を通して、布マスクの作り方の一例を示しながら「第三大成小学校児童に貴重なマスクのプレゼントをお願いできますか？」という回覧を出しました。回覧をしてすぐに持って来てくださった人もいて、地域の温かいつながりを感じることができました。

第三大成小学校にこの取り組みについて伝えると、「自分で作ることができるので、子どもたち自身で作ってもらうのはどうだろう」と提案してくださった先生がいました。地域で子どもたちを見守ることも必要だと思いますが、子どもたちにも地域の人と一緒に自分で自分の身を守る、自分でできることは自分でするという考えを育んで欲しいという思いが私にもあったので、小学校５・６年生は当会が準備した材料を使って家庭科の授業で布マスクを作ることになりました。また、１～４年生は、布マスク作りの最後の作業工程であるマスクにゴム紐を通す作業をしてもらうことになりました。このように学校との連携がうまくとれたことも、今までの活動が実を結んだのだと感じています。

活動をしていると、忙しくて大変に思うことはありますが、さまざまな人と関わることで元気をもらえることが地域づくり活動の魅力です。昔に比べると、本音で話すことのできる機会が少なくなったように思います。毎年、時代に合わせて活動内容を考えるようにしていますので、こういうのはどうだろうかという意見を伝えてくだされば、うれしく思います。個人や１つの団体だけではできないこともあるので、学校や行政、ほかの団体と協力し合いながら、いざという時にみんなで助け合おうという気持ちにつながるような地域づくり活動をしていきたいです。

たか丸くんのごみ減量速報

令和２年３月のごみ排出量（燃やせるごみ）　**4,349t**　167t減！（昨年同月比）

プラスチックごみの削減のため、7月から全国の小売店にレジ袋の有料化が義務付けられるよ。普段からマイバッグを持つ習慣を身に付けよう♪

■問い合わせ先　環境課廃棄物政策係（☎32-1969）

今号の表紙＋１枚　桜のトンネル

弘前公園の西濠沿いにはたくさんの桜が植樹されており、「桜のトンネル」と呼ばれています。人のいない寂しげな雰囲気の中、暖かな淡紅色や雪のような白色、光の加減により姿を変える桜が今年も花開きました。

今月の納税　市・県民税　第１期　納期限 6/30（火）　納税には便利な口座振替をぜひご利用ください。